

第29回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：警察庁長官賞（低学年の部）

タイトル：おまわりさんへつたえたいこと

氏名：西濱 千紘（ニシハマ チヒロ）

小学校名：岐阜県 各務原市立蘇原第一小学校 二年

七月、わたしの家の前にいたずらされることがありました。いたずらがつづいたある日の夜、お父さんがしごとでいなかったの、お母さんはふあんそうな顔をして、こうばんにそうだんの電話をしました。すると、おまわりさんがすぐにきてくれました。三人のおまわりさんは雨の日の夜なのにかさもささず、カップすがたでお母さんの話を聞いてくれて、しゃしんをとったり、近くの家の人に話を聞きに行ったりしてくれました。

その日の夜、わたしはお母さんのふあんそうな顔を思い出して、なかなかねむれませんでした。

つぎの日の朝、家のポストに『パトロールカード』という手がみが入っていました。そこには、

『0時十八分ごろ、パトロールをしましたが、いじょうがありませんでした』

と書かれていました。すると、その手がみを見たお母さんが、

「0時十八分って、わたしたちが夜ねてた時間だよ。」

と教えてくれました。わたしはそれを聞いて、おまわりさんは夜おそい時間もパトロールしてくれていることをはじめて知りました。

おまわりさんにちよくせつ言えなかったけど、手がみのへんじを書くとしたら、こうつたえたいです。

『おまわりさんへ、夜おそくまでパトロールをしてくれて、ありがとう。毎日、あんしんしてねむることができます。これからもまちのあんぜんをまもるためにがんばってください。大きくなったら、わたしもかっこよくて、こまっている人をたすけるやさしいおまわりさんになりたいです。』